



学校教育目標 「主体的に行動する生徒」  
●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

## 「感謝」 校長 佐藤 哲洋

3月を迎え、早いもので令和6年度もあと1か月です。3月はひとつの節目であり、別れの月です。この時期になると、私は「感謝の心を大切にしよう」という思いがいつも以上に強くなります。それは、この1年間を振り返って、多くの人たちに様々な面で支えていただいたと実感するからです。日本中に数多くの中学校がある中で、この学校に赴任し、生徒の皆さんや先生方と出会うことは奇跡であり、この集団で学校生活を送ることは一生に一度しかないことです。皆さんが過ごした今年度の学級も一生のうちに二度とつくることのできない奇跡の集団です。この3月でその奇跡の集団を締めくくろうとしています。毎日の授業、学年での行事や学校行事、日常の何気ない生活の中に思い出があると思います。多くのことを考え、楽しかったこと、嬉しかったこと、逆に辛く、苦しかったこと、悲しかったこともあると思います。友だちと意見がぶつかり合い、揉めたこともあるかもしれませんが、皆さんが経験したすべてのことは、自分自身の成長に繋がっているはずで

す。私自身、昨年の春に四中に赴任し、慣れない環境の中で、多くの温かい支援によって、校長として勤めることができました。四中をよりよくしようと前向きに活動する生徒や自分自身の可能性を伸ばそうと努力している生徒の皆さんの活躍、それを支えようとする先生方の献身的な姿勢、保護者の皆さんの理解と協力、地域の皆さんの応援等、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんも多くの人たちに支えられて、この年度を締めくくり、次のステージに向かっていきます。是非、感謝の心をもって生活してください。

こんな言葉があります。「感謝は、あなたが成長するのを助けます。感謝は、あなたの人生に、喜びと笑いをもたらすだけでなく、あなたの周りにいる全ての人々の人生にも喜びと笑いをもたらします。感謝することで、人生はより豊かになります。」

ただ、「感謝」というのは、人から「感謝しろ」と言われてするものではありません。自分の心の中から湧き上がってくるものです。四中が感謝の心であふれた温かい雰囲気、この3月を、そして、令和6年度を締めくくることができるよう期待しています。



## 中学校紹介

2月5日(水)、富丘小学校、貴船小学校のそれぞれの6年生に向け、四中で1年間を過ごした1年生が、自分たちの経験を踏まえ、中学校紹介を行いました。昨年度、現中学2年生の先輩方が丁寧に教えてくれたことを、今年度は自分たちが小学6年生に伝えることとなりました。1年間の学校生活を振り返り、明るい中学校生活をイメージしてもらうために、どのような表現がよいのか、みんなで話し合っ真摯に答える姿に、成長を感じました。



## 特別支援学級学習発表会 於：くれいどる芝楽

2月21日(金)、特別支援学級学習発表会が芝川中学校特別支援学級と合同で開催されました。四中生は、合奏「虹」、落語劇「道具屋～おかしな店主とお客たち～」、朗読劇「走れメロス」、全員合唱「あさがお」を披露しました。学習発表会に向け、南校舎から「虹」が流れてくるのをよく耳にしました。日に日に上達しているのが、聞こえてくる音から感じる事ができました。学習発表会当日では、保護者や他校の生徒、先生の前での発表となり、緊張したと思いますが、これまでの練習の成果を発揮し、堂々とした演奏や劇、合唱を披露することができました。



## 1・2年生合同練習

3月7日(金)に行われる、3年生を送る会に向け、歌声タイムの時間を使って、1・2年生が合唱や応援の練習を行っています。3年生は、3月5、6日に行われる公立高校受験に向け、学年で集中力を高め、授業に取り組んでいます。次のステージへ向かう3年生、心からのエールと感謝を伝えることでしよう。



今後の学校だよりのあり方について、現在検討しております。

お時間のある方は、右のQRコード(もしくは下記URL)から、「学校だよりに関するアンケート」にお答えください。(https://forms.gle/ivmESSVgXYdMHbFJ7)

